

農林・漁業従事者人口の推計⁽¹⁾

高 木 尚 文

〔一〕 序

わが国産業は、昭和二五年以降、とくに三五年以降今日までドラスティックな変化をみせてきた。本稿では、まずこの変化の底流を、農業が課せられてきた生産・社会環境条件の中で他産業への就業の機会とえられる所得の大きさを考慮して決定される「農家の人びとの行動」、特に「農業後継者の意識」のなかから汲みとる試みからなされる。

ついでこの底流をベースにおいて、わが国の農林・漁業従事者数が一九七五年以降半世紀にわたっていかに推移してゆくかをつぎの2つの推計モデル

T型推計とM型推計

によって提示したいと思う。

ここでT型推計は、農林・漁業従事者の意識が伝統的(traditional)な場合を、M型推計は、彼等の意識が近代的(Modern)な場合をそれぞれ想定しているわけである。

農林・漁業従事者人口の推計

第1表 第1次産業比率の減少率

年次	国勢調査	減少率		
		労働力調査	減少率	
	百万人	%	百万人	%
1920	53.5	0.8		
30	49.4			
40	44.0			
50	48.3	3.2		
55	41.1			
60	32.6	4.5	37.1	4.4
65	24.7	5.4	29.7	4.9
70	19.3	4.8	23.1	5.8
74			17.1	6.8
85			12.9	7.0
			(5.7)	

注) 表中(5.7)の数値は、本推計のM型推計によるものである。

半では四〇％であつたが、以後四九年まで二、三年の例外を除いて四二％の水準で推移している。一方第1次産業比率は、第1表が示すように、一九五五年から七四年の間の年平均減少率は五・四％である。これをイギリスの場合を例にとつて対比してみよう。イギリスの場合、第1次産業比率は、一八〇年では三五・九％、一八八〇年では一二・六％であつたから、その間の年平均減少率は一・三％である。わが国の場合、まさにイギリスの場合の四倍に該当するハイ・ピッチである。

われわれは、わが国農業のこれからの担い手がM型であることが、真に日本農業近代化につながる道であると思ふ。しかしそのためには、農業政策による「経営耕地規模の拡大」、「農地の基盤整備」等の生産条件の改善が前提でなければならぬ。

この推計は、およそ昭和五〇年のわが国の第1次産業の現状を固定化しての推計モデルであるが、上述の二つの見解の下での推計であることをここであらためて断っておきたい。

〔二・〇〕日本農業の変化の概要

わが国産業構造の変化を「労働力調査結果」によつてみると、第2次産業比率は、昭和三〇年代の前

第2表 年次別耕地面積と利用率

年次	総耕地面積	田	畑	耕地利用率
	千ha	千ha	千ha	%
昭和25	6,245	2,876	3,369	149
35	6,122	3,410	2,712	133
40	6,004	3,391	2,613	123
45	5,796	3,415	2,381	109
48	5,647	3,274	2,373	100.3
49	5,572	3,207	2,364	102.5
	(5,615)	(3,209)	(2,406)	(102.4)

注) 1. 農林省「耕地面積調査」
 2. () の数字は沖繩を含める。

このように現在ドラスティックな変化の渦中にある日本農業にも、戦前、明治の初期から一貫して一定値をもつ基本的数字が三つあった。耕地面積六〇〇万ha、農家戸数五五〇万戸、農業人口一、四〇〇万人がそれである。しかしこれらの数字はいずれも、戦後の混乱期をくぐりぬけた昭和三〇年以降変化し、とくに三五年以降その傾向は著しい。その変化の様相をこれら三つの視点から一べつしながら、農家の人びとの意識との関連をみよう。ここでつぎの「二・一」から「二・四」までの叙述については、戸塚博允氏の論文からその多くを引用したこと

を付記しておく。

「二・一」耕地面積の減少

耕地面積の年次別の減少は、第2表に示すとおりである。

この表によれば、戦後、食糧増産と海外からの復員引揚者のために、全国的に未利用地や旧軍用地の開拓等が行われ、昭和二五年当時は六二五万haが農地として利用されていた。しかしその後農業的土地利用は急速に減退し、特にその傾向は四〇年以降著しく、約二五年間に七〇万haの減少となった。さらに顕著な現象は、つぎの式で定義される耕地利用率

$$\text{耕地利用率} = \frac{\text{作付延面積}}{\text{耕地面積}} \quad (\text{ただし、かきと種苗を除く})$$

が昭和二五年当時の一五〇％から漸次低下し、四八、四九年には一〇〇

第3表 経営耕地規模別農家戸数 (単位: 1,000戸)

年次	総数	1.0ha未満	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0ha以上
昭和25	5,931	4,420	1,308	176	27
30	5,806	4,240	1,357	179	30
35	5,823	4,182	1,406	201	36
40	5,466	3,858	1,352	214	41
45	5,176	3,603	1,272	241	60
46	5,101	3,506	1,272	257	67
47	5,018	3,475	1,225	248	69
48	4,953	3,447	1,190	244	72
49	4,885	3,410	1,160	242	73

注) 25—45年は農業センサス結果, 46—49年農業調査。

%台に落込んだことで、これはほとんどの耕地が年一回の耕作利用であることを示しているから、西日本の二毛作を考慮に入れるとき、耕作されていない遊休の耕地がかなり存在することを意味している。

この現象が生起した理由として、稲作の休耕手当による休耕田の増加、麦作が経営的にペイしないことによる裏作の大巾な減少、○・三ha未満層の実質上の耕作放棄等があげられよう。

〔二・二〕農家戸数の減少

農家戸数は都府県においては、過去二五年間で約一〇〇万戸も減少している。とりわけこの場合も三五年以降において激しく最近は年間平均七万戸が農業から離脱している。

以降漸減している。三・〇ha以上階層では、若干ながら現在まで漸増しているが、四九年がピークではないかと思われる。

この現象は、経営耕地規模拡大の困難が農業の収益性の上昇を圧迫し、投資効率や農業所得率の低下を招き、

第4表 全国・都府県・経営耕地規模別農家経済 (単位: 1,000円)

年次	農所得	農所得	農所得	可処分所得	家計費	農家経済余	純余剰
	(1) (全国)	(2) (全国)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
昭 43	1,125.7	527.0	598.7	1,148.0	958.0	190.0	319.8
44	1,250.0	529.3	720.7	1,285.7	1,082.6	203.1	413.3
45	1,393.2	508.0	885.2	1,448.8	1,225.2	223.6	490.0
46	1,537.7	469.6	1,068.1	1,596.5	1,361.7	234.8	505.7
47	1,852.9	585.2	1,267.7	1,909.0	1,550.9	358.1	807.5
48	(全国)						
48	2,322.1	746.5	1,575.6	2,401.1	1,872.7	528.4	1,072.9
48	(都府県)						
平均	2,313.7	710.8	1,602.9	2,387.3	1,871.7	515.6	1,056.6
0.1—0.5ha	2,245.1	198.0	2,047.1	2,354.5	1,802.7	551.8	906.5
0.5—1.0	2,251.3	592.9	1,658.4	2,326.1	1,874.0	452.1	1,029.4
1.0—1.5	2,344.9	1,106.0	1,238.9	2,376.8	1,888.8	488.0	1,181.0
1.5—2.0	2,426.3	1,444.4	981.9	2,424.7	1,911.1	513.6	1,229.0
2.0ha以上	2,680.0	1,900.9	779.1	2,747.9	2,094.1	653.8	1,410.9

出所 「農家経済調報告」

- 注) 1. (1)=(2)+(3).
 2. (4)=税引所得+出かせぎ, 被贈扶助等の収入.
 3. (5)=家族員以外の賄い支給額を除く.
 4. (6)=(4)-(5)=損益計算書概念.
 5. (7)=(6)+[(6)に加算すべき額]-[(6)から控除すべき額]=貸借対照書概念.

一方家計費、経営費支出の不断の増大は、農業所得による家計費の充足率を低め、両々相待って農家は農外所得に多くを頼らざるをえなくなっていることによる。その傾向が漸次上層に波及するとともに、下層ほど農業経営存続の必要性をあまり感じなくなっている。この場合農家の耕地は生産手段としてではなく、資産として保有されているわけで、もはや実質上農家とはいえない状態にある。第4表はこの間の事情を明らかにしている。

○・五ha未満層では、農業所得の農家所得に占める割合は、僅かに九%で家計費は農外所得で十分賄える。そして二・〇ha以上でやっと農

農林・漁業従事者人口の推計

第5表 農業従事者数の推移 (単位: 1,000人)

年次	総数	男	女
昭 35	14,542	5,995	8,546
40	11,514	4,565	6,949
45	10,252	3,973	6,279
46	9,596	3,782	5,814
47	9,002	3,457	5,545
48	8,487	3,190	5,296
49	8,020	2,997	5,024

各年次1月1日現在.

第6表 農家世帯員の他産業への就職状況
(単位: 1,000人)

年次	総数	就職前「農業が主」
昭 43	787 (100)	139 (17.7)
44	800 (100)	169 (21.1)
45	793 (100)	205 (25.9)
46	819 (100)	238 (29.1)
47	793 (100)	246 (31.0)

出所: 農家就業動向調査.

業所得で家計費がほぼ賄えそうだというにすぎない。農業所得が農外所得をこえるのは、一・五ha以上の層であるから、それは全体の一四％にすぎない。しかし農家経済活動について、農家経済余剰によって静態的把握を試みると、〇・五ha未満層の水準は二・〇ha以上層になつてはじめて追い抜かれている。この事柄によつても〇・五ha未満層の生活の裕福さがわかる。しかし長期的な視点からは、経営耕地規模の増大は、純余剰をみれば明らかのように、資産の増大につらなつてゐる。

〔二・三〕 農業就業人口の減少

第5表は農業従事者数の推移である。

農業従事者は現在まで激しい勢いで減少している。移動要因としていくつがあるが、そのうち(a)他産業部門への就職転出、(b)他産業就業からのUターン、(c)農家子弟の新規卒者の農業就業による補充をとりあげてみよう。

(a)については、第6表によれば、農家世帯員の他産業就職者は、この五年間に約八〇万人であるが、そのうち就

第7表 就業前「農業が主」であった者の就職者

総数	男女別		年令区分別				男の世帯上の地位別		
	男	女	19才未満	20~24	25~34	35~	世帯主	あつぎ	その他
246千人	140	106	12	33	46	156	82	48	10
100.0%	56.9	43.1	4.9	13.4	18.7	63.4	33.3	19.5	4.1

出所：農家就業動向調査。

第8表 農家子弟の新規学卒者の動向

卒業年次	40	43	44	45	46	47	48
農業就業者 千人	68	61	48	37	32	22	18
農業就業率 %	10.5	9.7	8.3	7.0	6.5	5.1	4.6

注) 1. 農業就業率=(農業就業者)の(進学者を除く卒業生)に対する割合。

2. 「昭和48年農家就業動向調査」

職前の就業状態が「農業が主」である者(基幹的農業労働力とされている)の総数に対する割合は、年を追って増

加し、四七年には三一%にも及んでいいる。しかもこれを男女・年令別、男の世帯上の地位別にみたのが、第7表である。これによれば、男子は五七%で、三五才以上の年

令層が六割以上を占め、男子就業者のうち大半が世帯主とあつぎである。

(b)について、農家世帯員の他産業離職後「農業が主」となった者は、同じく「農家就業動向調査」によれば、昭和四三〜四七年の各年次それぞれ千人単位で八九、八六、八〇、九六および一一千人で近年やや増加の傾向にある。

(c)については、第8表の示すとおり、年々激減しており、このことが農業就業人口の減少のみならず農業の質的低下を招いている大きな要因となっている。したがって農業後継者の意識を把握し、それを農業政策に反映させることが焦眉の急である。

〔二・四〕農業後継者の意識

農業経済理論と農業経営や農業技術を学び、やがて

第9表 農業に就業する理由

総 数	100.0
① 現在の農業経営で希望がもてる	9.6
② やり方によっては面白い職業だと思う	39.6
③ 若干の兼業収入があればやってゆける	6.9
④ 農業のあととりだから	21.8
⑤ 両親が望んでいるから	18.1
⑥ そ の 他	4.0

第10表 農業経営を行う場合に必要とするもの

総 数	100.0
① 農地規模の拡大	27.8
② 農地の基盤整備	7.5
③ 経営拡大の資金	14.0
④ 経営技術の研修	27.4
⑤ 農業の機械化	7.9
⑥ 共同化協同化	7.3
⑦ 生活環境の整備	2.7
⑧ 財産の移譲	0.4
⑨ 経営管理の指導	2.5
⑩ そ の 他	2.5

農業経営を行うものが少くない農業高校三年生を対象として、その就業志向等に関する実態調査の結果が示されている。「農業後継者の流出・帰農に関する調査研究報告書」(昭和四八年度全国農業会議所、一九七四・三)から、その一部を掲載したのがつぎの3表である。そのうち第9、10表は、農業就業志向者に対する調査結果であり、第11表は、全数に対して農業についての考え方を調査したもので、いずれも興味ある結果が提示されている。

まず農業に就業する理由について、積極的に農業経営を行おうとするものが、①と②の合計で五〇%と最も高い割合を示している。さらに農業就業志向者が、農業経営を行う場合に、生産手段としての農地の規模拡大や経営技術の研修等が強く要請されている。前者については、改正農振法の農用地利用増進事業がそれに代わるものとして請負耕作に目を向け、農地法と調和させながら一時貸借を合法化する試みに期待したい。

最後に、農業高校生が農業についてどのように考えているかについてみると、農業就業志向者(A)の場合には、

第11表 農業についての考え方

	総 数	農業就業 志向者(A)	他産業就業 志向者(B)
総 数	100.0	100.0	100.0
① やりがいのある職業	18.1	19.6	16.5
② 他産業と同様の収入を あげることができる	50.6	58.3	41.7
③ 規模拡大・省力化がで きにくい	10.0	8.3	12.1
④ それほど将来性がない	18.1	10.5	26.6
⑤ そ の 他	3.2	3.3	3.1

農業に対して積極的肯定的な考えをもつ者(①と②)が七八%、否定的なもの(③と④)が一九%であるのに対し、グループBでも、肯定的なもの五八%、否定的なもの三九%になっている。したがって農業経営をめぐる

条件を整えば、農家子弟の新規学卒者の五〇%以上が農業就業を志向するであろうと考えることも、あながち根拠のないことではない。

〔三・〇〕農林・漁業従事者人口の将来推計モデル

われわれは、第2節において、日本農業の実態、農家の行動原理と新規農業就業志向者の意識をトレースしてきた。

標記の推計モデルは、その推計方法が上記の情報によつて、さらに推計の計算過程において用いられる統計資料によつても規定されることになるから、モデルの性格は最終的には、その推計方法に集約されるといえる。

したがってまず推計に用いられる計算指標

男女・年令別職業・在職率

男女・年令別就業率

男女・年令別職業・就業率

について、その定義と算定方法について略述しよう。⁽³⁾

農林・漁業従事者人口の推計

〔三・一〕男女・年令別職業・在職率

定義 特定職業に関する男女・年令別在職率とは、時点 t において年令階級 $(5n, 5(n+1))$ ($n=3, 4, \dots, 11$) (ただし $n=12$ のとき $(50 \setminus \setminus)$)の就業者数 $L_{5n}^{(t)}$ が、時点 $(t+5)$ においては、年令階級 $(5(n+1), 5(n+2))$ ($n=4, \dots, 12$) (ただし $n=13$ のとき $(5 \setminus \setminus)$)の就業者数 $L_{5(n+1)}^{(t+5)}$ に変化したとすると、つぎの式

$$p_{5n}^{(t)} = L_{5(n+1)}^{(t+5)} / L_{5n}^{(t)} \quad (n=3, \dots, 11, 12) \quad i=1, 2$$

ここに $i=1$ は男子、 $i=2$ は女子を表わす。

によって定義される。

基礎資料—昭和三〇～四五年までの国勢調査による、農林業、漁業別の

男女、五才階級別就業者数⁽⁴⁾

算定方法—いま例えば、農林業就業者の男の集団について、昭和三〇年に年令階級 $(5n, 5(n+1))$ のものは五年後の三五年には、その五年間に一部、死亡、離職により脱退、就職による参入をうけた結果として昭和三五年の年令階級 $(5(n+1), 5(n+2))$ の就業者として統計表に表章されているわけである。これをつぎに図式で表わそう。

図式における $L_{5n}^{(t)}$ もしくは $L_{5n}^{(t)}$ の計算値と補外値を記号をつけて表するとき、それらはつぎの重み行列を施して算定する。⁽⁵⁾

農林業従事者（男）
 国勢調査年次別年令区分別人口

年令区分	昭 30	昭 35	昭 40	昭 45
(Ⅰ—グループ)				
15—19	$L_{15}(30)$			
20—24	$L_{20}(30)$	$L_{20}(35)$		
25—29	$L_{25}(30)$	$L_{25}(35)$	$L_{25}(40)$	
30—34	$L_{30}(30)$	$L_{30}(35)$	$L_{30}(40)$	$L_{30}(45)$
35—39	$L_{35}(30)$	$L_{35}(35)$	$L_{35}(40)$	$L_{35}(45)$
40—44	$L_{40}(30)$	$L_{40}(35)$	$L_{40}(40)$	$L_{40}(45)$
45—49	$L_{45}(30)$	$L_{45}(35)$	$L_{45}(40)$	$L_{45}(45)$
50—54	$L_{50}(30)$	$L_{50}(35)$	$L_{50}(40)$	$L_{50}(45)$
55—59	$L_{55}(30)$	$L_{55}(35)$	$L_{55}(40)$	$L_{55}(45)$
60—64	—	$L_{60}(30)$	$L_{60}(40)$	$L_{60}(45)$
65—69	—	—	$L_{65}(40)$	$L_{65}(45)$
70—74	—	—	—	$L_{70}(45)$
(Ⅱ—グループ)				
40—	$L'_{40}(30)$			
45—	$L'_{45}(30)$	$L'_{45}(40)$		
50—	$L'_{50}(30)$	$L'_{50}(40)$	$L'_{50}(40)$	
55—	$L'_{55}(30)$	$L'_{55}(40)$	$L'_{55}(40)$	$L'_{55}(45)$
60—	$L'_{60}(30)$	$L'_{60}(40)$	$L'_{60}(40)$	$L'_{60}(45)$
65—	—	$L'_{65}(40)$	$L'_{65}(40)$	$L'_{65}(45)$
70—	—	—	$L'_{70}(40)$	$L'_{70}(45)$
75—	—	—	—	$L'_{75}(45)$

注) 例えば、 $L'_{40}(30)$ は、昭和30年の40才以上の就業者数を表わす。

農林・漁業従事者人口の推計

$\log L'_{5n}(30)$ $\log L'_{5(n+1)}(35)$ $\log L'_{5(n+2)}(40)$ $\log L'_{5(n+3)}(45)$ $\log L'_{5(n+4)}(50)$ $\log L'_{5(n+5)}(55)$	$\log L_{5n}(30)$ $\log L_{5(n+1)}(35)$ $\log L_{5(n+2)}(40)$ $\log L_{5(n+3)}(45)$ $\log L_{5(n+4)}(50)$ $\log L_{5(n+5)}(55)$	$\log L'_{5n}(30)$ $\log L'_{5(n+1)}(35)$ $\log L'_{5(n+2)}(40)$ $\log L'_{5(n+3)}(45)$	$\log L_{5n}(30)$ $\log L_{5(n+1)}(35)$ $\log L_{5(n+2)}(40)$ $\log L_{5(n+3)}(45)$
1.95	0.95	0.15	0.15
-2.85	-0.15	0.55	0.45
-2.15	0.45	0.15	0.15
4.05	-0.15	0.95	0.05

第12表の1 職業・在職率 $\hat{P}_x(t)$

年齢階級	昭30—35	35—40	40—45	45—50	50—55	C_2
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
農林業従事者						
(男)						
15—19	0.72678					
20—24	0.77405	0.75251				
25—29	0.86129	0.80166	0.77867			
30—34	0.88492	0.85527	0.84809	0.80590		0.82700
35—39	0.91289	0.88333	0.84930	0.89720	0.83408	0.87325
40—44	0.92160	0.89644	0.88175	0.84337	0.94915	0.86206
45—49	0.95377	0.90832	0.88028	0.88017	0.83749	0.88023
50—54	0.94842	0.90981	0.89523	0.86441	0.87860	0.87982
55—59	0.89105	0.84300	0.86790	0.88233	0.84883	0.87512
60—	0.58439	0.56861	0.58123	0.60593	0.62450	0.59363
(女)						
15—19	0.94177					
20—24	0.82814	0.88813				
25—29	0.92741	0.86516	0.83755			
30—34	0.94306	0.90122	0.90383	0.78985		0.84684
35—39	0.93716	0.91594	0.87577	0.94424	0.74487	0.91001
40—44	0.91758	0.90443	0.88960	0.85103	0.98644	0.87032
45—49	0.85805	0.87445	0.87285	0.86402	0.82700	0.86844
50—54	0.83528	0.84076	0.83340	0.84236	0.83917	0.83789
55—59	0.73846	0.74570	0.80328	0.79426	0.81295	0.79877
60—	0.48150	0.50432	0.54426	0.60316	0.64219	0.57371

注) (6) = $\frac{(3)+(4)}{2}$

農林・漁業従事者人口の推計

年齢階級	昭30—35	35—40	40—45	45—50	50—55	C ₂
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

漁業従事者
(男)

15—19	0.93787					
20—24	0.88537	0.89694				
25—29	0.93608	0.87608	0.85779			
30—34	0.93331	0.89679	0.86708	0.82035		0.84372
35—39	0.93222	0.89658	0.85915	0.85817	0.78454	0.85866
40—44	0.92756	0.88850	0.86130	0.82309	0.84935	0.84220
45—49	0.88269	0.87083	0.84733	0.82741	0.78854	0.83737
50—54	0.84216	0.83549	0.81757	0.80807	0.79485	0.81282
55—59	0.76949	0.74210	0.79081	0.76757	0.77062	0.77920
60—	0.49107	0.49346	0.52722	0.56253	0.60050	0.54488

(女)

15—19	1.01488					
20—24	1.04258	1.07395				
25—29	1.30813	1.12266	1.13645			
30—34	1.30244	1.16124	1.20878	1.20259		1.20569
35—39	1.14759	1.13730	1.03085	1.30149	1.27257	1.16617
40—44	1.09500	1.09927	0.99311	0.91510	1.40133	0.95411
45—49	1.05033	1.04056	1.05300	0.86720	0.81235	0.96010
50—54	0.99442	0.93715	0.98882	1.00867	0.75724	0.99875
55—59	0.78750	0.80928	0.83618	0.93965	0.96620	0.88797
60—	0.46035	0.56076	0.59942	0.64562	0.71472	0.62252

注) (6) = $\frac{(3)+(4)}{2}$

農林・漁業従事者人口の推計

ただし、 $L_{5n}(t)$ についても全く同じ重み行列を施す。

つきにこれら $\hat{L}_{5n}(t)$ もしくは $\hat{L}_{5n}(t)$ を用いて例えば昭和四〇年の $L_{5n}(40)$ に施すべき在職率 $p_{5n}(40)$ は次式

$$p_{5n}(40) = \hat{L}_{5n(r+1)}(45) / \hat{L}_{5n}(40)$$

によって算定される。

その計算結果が、第12表の1に、掲げてある。この算定方式を検討すると、統計資料の制約上五〇年、五五年にたいする L は補外によって求められているから、それだけ偏りをうけやすいことが了解されよう。そこで $p_n(40)$ と $p_n(45)$ の和半をもってそれぞれの在職率とした。つぎの表が農林業、漁業別の男女、年齢階級別の在職率である。

第12表の2 従事者の在職率
(男女・年齢・階級別)

年齢階級	農 林 業	漁 業
(男)		
30—34	0.82700	0.84372
35—39	0.87325	0.85866
40—44	0.86206	0.84220
45—49	0.88023	0.83737
50—54	0.87982	0.81282
55—59	0.87512	0.77920
60—	0.59363	0.54488
(女)		
30—34	0.84684	1.20569
35—39	0.91001	1.16617
40—44	0.87032	0.95411
45—49	0.86844	0.96010
50—54	0.83789	0.99875
55—59	0.79877	0.88797
60—	0.57371	0.62252

注) この在職率の水準は昭和45年の水準と推定される。

第13表の1 男女・年齢別就業率

年齢階級	昭 30	35	40	45	推定係数	49
(男)						
15—19	0.52091	0.50574	0.37138	0.35070	0.74628	0.26172
20—24	0.85199	0.86799	0.85433	0.81588	0.95691	0.78072
25—29	0.93742	0.96073	0.95976	0.96968	0.99114	0.96109
30—34	0.95110	0.97234	0.96981	0.97768	1.00320	0.98081
35—39	0.95785	0.97206	0.96937	0.97601	1.00050	0.97650
40—44	0.95910	0.97193	0.97214	0.97263	0.99954	0.97218
45—49	0.95505	0.96679	0.96993	0.96907		0.96862
50—54	0.93847	0.95460	0.96023	0.95979	0.99294	0.95935
55—59	0.88747	0.89650	0.91629	0.91397		0.90752
60—64	0.81459	0.82075	0.83882	0.83561		0.90752
65—	0.55686	0.54291	0.54291	0.53536	0.91886	0.49192
(女)						
15—19	0.48264	0.48972	0.36839	0.35013	0.70565	0.24707
20—24	0.66575	0.68715	0.68446	0.69096	0.92964	0.64234
25—29	0.51488	0.49707	0.45788	0.44131	0.94777	0.41826
30—34	0.49072	0.51088	0.48040	0.46761	0.92831	0.43409
35—39	0.52428	0.54824	0.57305	0.55716	0.94851	0.52847
40—44	0.55340	0.56579	0.62129	0.62840	0.978771	0.61506
45—49	0.54162	0.56614	0.61751	0.64144		0.62782
50—54	0.50545	0.51535	0.57919	0.60172	0.97541	0.58895
55—59	0.45897	0.46574	0.50335	0.53145		0.51838
60—64	0.39065	0.39028	0.39691	0.42853		0.41799
65—	0.21134	0.20927	0.17595	0.19588	0.88030	0.17243

注) 昭49年は推定値=(昭45)×推定係数である。

農林・漁業従事者人口の推計

第13表の2 男女・年令別就業率と推定係数

年令階層	昭 45	昭 49	推定係数
(男)			
15—19	0.30573	0.22816	0.74628
20—24	0.79182	0.75770	0.95691
25—29	0.95982	0.95132	0.99114
30—34	0.96845	0.97155	1.00320
35—39	0.97066	0.97115	1.00050
40—54	0.96217	0.96173	0.99954
55—64	0.85079	0.84478	0.99294
65—	0.49063	0.45082	0.91886
(女)			
15—19	0.33114	0.23367	0.70565
20—24	0.69057	0.64198	0.92964
25—29	0.44858	0.42515	0.94777
30—34	0.47722	0.44301	0.92831
35—39	0.57002	0.54067	0.94851
40—54	0.61474	0.60169	0.97879
55—64	0.44368	0.43277	0.97541
65—	0.17936	0.15789	0.88030

注) 1. 労働調査報告の昭和45, 49年年度報によって計算したもの。

2. 推定係数 = $\frac{\text{昭45年の値}}{\text{昭49年の値}}$

第13表は、国勢調査結果から求めた男女・年令別就業率である。最近年次は、昭和四五年であるが、われわれは、推計値でもよいから昭和四九年の数値がほしいと考えた。そこで労働力調査報告の昭和四五、四九年年報から、昭和四五、四九年年令別就業率を求め、その比を、国勢調査結果によって算定した第13表—1の昭和四五年の就業率に乗じて、第13表—1の昭和四九年年令別就業率は推定されているから推定値である。

(三・三) 男女・年令別職業・就業率

定義 特定職業に関する男女・年令別職業・就業率とは、男女別に、ある年令階級の就業人口のなかでその職業に就業している人口の割合をいう。

第14表の1 男女・年令別職業就業率

年令階級	昭 30	35	40	45
農 林 業				
(男)				
15—19	0.29701	0.15359	0.085237	0.070358
20—24	0.24492	0.14523	0.062826	0.051732
25—29	0.24063	0.16778	0.089547	0.043777
30—34	0.24844	0.20150	0.13262	0.071939
35—39	0.25753	0.21678	0.17239	0.11185
(女)				
15—19	0.31803	0.16392	0.061289	0.044738
20—24	0.36175	0.24232	0.096770	0.061303
25—29	0.51100	0.41195	0.26898	0.15727
30—34	0.56011	0.49798	0.36636	0.24972
35—39	0.54977	0.48649	0.38818	0.28924
漁 業				
(男)				
15—19	0.028960	0.019712	0.015706	0.013900
20—24	0.025437	0.017584	0.011022	0.0086452
25—29	0.020827	0.020871	0.013689	0.0083362
30—34	0.019049	0.019164	0.017363	0.011660
35—39	0.017944	0.017375	0.016910	0.015352
(女)				
15—19	0.0048290	0.0032080	0.0026950	0.0016245
20—24	0.0039333	0.0032985	0.0028646	0.0017335
25—29	0.0048158	0.0046806	0.0058353	0.0040519
30—34	0.0053025	0.0058106	0.0071436	0.0061115
35—39	0.0051061	0.0055138	0.0070969	0.0062604

(国勢調査による)

それはある意味では、就業の意志をもつ者またはすでにある職業に就業しているものでも、幾多の職業のなかから選択して就業する割合であるといえる。そしてこのような選択の自由をもつ年令層は、農林業、漁業、男、女を問わず在職率が三五〇三九才層のところで反転している事柄に注目するとき、一五〇三四才、高高

第14表の2 農林・漁業の職業就業率

年齢階級	昭 45	46	47	48	49
(男)					
15—19	0.11111	0.09023	0.08108	0.07000	0.074946
20—24	0.06103	0.05495	0.05287	0.04489	0.043621
25—29	0.05349	0.04866	0.04038	0.03812	0.036364
30—34	0.07769	0.06452	0.05755	0.04471	0.042702
35—39	0.11839	0.10224	0.08824	0.07617	0.066567
(女)					
15—19	0.04636	0.03704	0.02632	0.027273	0.021645
20—24	0.04645	0.04211	0.03621	0.035294	0.029051
25—29	0.14146	0.12432	0.10695	0.091787	0.080378
30—34	0.21106	0.18653	0.16244	0.13171	0.12170
35—39	0.25862	0.22707	0.20087	0.17094	0.16399

(労働力調査による)

農林・漁業従事者人口の推計

一五〇三九才であるとみて誤りないであろう。そこで一五〇三四才もしくは一五〇三九才層の就業者は、その間すでにある職業に就業しているものも含めて、つぎの時期に引続き同じ職業に留まるとしても、考え方としては、機会ごとに職業を選択して就業しているとみるのである。したがって職業就業率が小さければ小さい程逆にその職業に対する意識は高いものと考えられよう。

さて国勢調査結果によって農林業、漁業別にさらに男女別に、年齢層一五〇三九才について五才階級別に職業・就業率を計算した結果が、第14表の1である。

表を一見して年次が進むにつれて各年齢階級ともその率が減少していることがわかるが、最近年次における動きは全く不明である。そこで最近年次の動きをみるために、労働力調査報告を援用した。しかしこの調

査報告の職業、年齢階級別就業者数についての統計表では残念ながら農林業、漁業が一括されて農林・漁業として表章されているにすぎない。そこでやむをえず、農林・漁業の職業就業率を昭和四三年から同四九年まで男女

第15表 昭和49年の推定職業就業率

年令階級	昭 45 (国勢調査)	昭 49 換 算 率	含 沖 繩 換 算 率	昭 49 推 定 率
	(1)	(2)	(3)	(4)
農 林 業				
(男)				
15—19	0.070358	0.67452	0.99192	0.047075
20—24	0.051732	0.71471	0.99328	0.036725
25—29	0.043777	0.67985	0.99501	0.029613
30—34	0.071939	0.54962	1.02419	0.040495
35—39	0.11185	0.56227	0.99795	0.062761
(女)				
15—19	0.044738	0.46691	0.99211	0.020724
20—24	0.061303	0.62545	0.99361	0.038097
25—29	0.15727	0.56820	0.99161	0.088611
30—34	0.24972	0.57661	0.99361	0.14307
35—39	0.28924	0.63410	0.99486	0.18247
漁 業				
(男)				
15—19	0.013900	0.67452	0.99192	0.0093000
20—24	0.086452	0.71471	0.99328	0.0061373
25—29	0.083362	0.67985	0.99501	0.0056391
30—34	0.011660	0.54962	1.02419	0.0065636
35—39	0.015352	0.56227	0.99795	0.0086143
(女)				
15—19	0.0016245	0.46691	0.99211	0.00075252
20—24	0.0017335	0.62545	0.99361	0.0010773
25—29	0.0040519	0.56820	0.99161	0.0022830
30—34	0.0061115	0.57661	0.99361	0.0035015
35—39	0.0062604	0.63410	0.99486	0.0039493

注) (4)=(1)×(2)×(3), ここに(2)は第14表の2における(昭49)÷(昭45)によって計算される。

・年令階級別に計算した。第14表の2には、昭和四五～四九年について示されている。
 これによれば、男女ともにとどの年令階級とも昭和四九年の水準で概ね職業・就業率が落着くであろうとみなし
 てもそう無理ではないだろう。そこで第14表の1における四五五年の職業・就業率を、対応する第14表の2の昭和

農林・漁業従事者人口の推計

四五年と四九年の率を用いて換算し、国勢調査による昭和四九年の職業・就業率を推計した。さらにこれまでの職業・就業率は沖縄県が除かれているので、換算された推計職業・就業率を沖縄県を含めたものに換算して最終的に昭和四九年に対する男女年令階級別職業・就業率をえた。第15表には昭和四九年の推定職業・就業率とその換算率が示されてある。

以上によって推計計算に用いられる計算指標はすべて用意されたことになる。しかもこれらの計算指標はすべて国勢調査資料にもとづいていることに留意しよう。

〔四・〇〕推計モデルの枠組みと性格

本推計人口は、基底にある人口がすべて国勢調査人口であるので各年次の国勢調査概念の人口の推計人口である。

(1) 本推計の基準人口は二つある。

(A) 財団法人人口問題研究会の「日本の将来推計人口」の昭和五〇年以後昭和百年までの五年おきの男女、五才階級別人口

(B) 昭和四五年一〇月一日国勢調査による職業(中分類)、男女、五才階級別一五才以上就業者の統計における農林業従事者人口および漁業従事者人口

以上の基準人口を以後基準人口A、Bという。

(2) 計算指標

[C₁] 男女・年令(五才階級)別就業率

男女・年令（五才階級）別職業・就業率

$[C_2]$ $[C_3]$ 男女・年令（五才階級）別職業・在職率

以上の計算指標のうち $[C_2]$ $[C_3]$ については、勿論農林業従事者および漁業従事者に関する $[C_2]$ $[C_3]$ を用いるが、以後明らかなきには、単に計算指標 $[C_1]$ $[C_2]$ $[C_3]$ とよぶことにする。

(3) 推計期間

昭和五〇年から同百年までの五〇年間

(4) 推計期日

昭和五〇年を含めて同百年までの五年ごとの一〇月一日現在（国勢調査資料によっているため）

(5) それぞれの推計人口は、基準人口 A は沖繩を含めているが、 B は沖繩を含まないため、性格が不明であるが、この点は修正が可能である。ここでは、主として推計方法に重点をおいているので一応沖繩を含むものとする。

〔四・一〕 推計人口の種類

序において述べたように、推計の種類は、つぎの〔四・二〕推計方法で説明する二種類の計算方法によって、つぎの二種類

*T*型推計人口と*M*型推計人口

である。

〔四・二〕 推計方法（算定方法）

農林・漁業従事者人口の推計

農林・漁業従事者人口の推計

推計方法の原則は、農林業、漁業従事者別に、さらに男女別の五才階級別（六五才以上一括）人口に、それぞれの計算指標を適用するという計算手続きをとるものとする。

また計算指標 $[C_i]$ は、いずれも昭和四九年現在の状態を表現しているように、配慮されているから、本推計人口は、その限りで昭和五〇年一月の条件を固定して推計されていると考えてよい。⁽⁶⁾

つぎに、推計計算も段階をおって説明しよう。

(1) まず本推計人口の起点となる昭和五〇年の推計人口の算定は、基準人口 $[B]$ の三〇才以上人口に五才階級ごと（六〇才以上は一括、以下同じ）に計算指標 $[C_5]$ を適用して昭和五〇年人口の三五才以上人口を算定する。つぎに昭和五〇年の基準人口 $[A]$ の一五〜三四才人口に五才階級ごとに、計算指標 $[C_1]$ を適用して、その年次のそれぞれの階級の就業人口を作成し、さらにそれに $[C_2]$ を適用して、農林業、漁業の従事者を算定する。

以上の計算手続きによって、昭和五〇年の推計人口が算定されることになる。

(2) 昭和五〇年の各従事者別男女、年令五才階級（六五才以上は一括、以下同じ）人口が本推計の起点の推計人口である。

つぎにこの起点推計人口から昭和五五年の推計人口を推計する際に、ここからつぎの二種類の推計方法(a)、(b)にわかれる。そして(a)の場合が T 型推計人口に、(b)の場合が M 型推計人口になるわけである。

(a) 昭和五五年の推計人口の一五〜三九才を推定するため、基準人口 $[A]$ の五五年の人口の一五〜三九才人口に最初五才階級別に計算指標 $[C_1]$ を適用して各階級の全就業人口を推計、さらにそれらの就業人口に計算指標 $[C_2]$ を適用して、五五年の各従事者人口の一五〜三九才のグループの五才階級別推計人口を算定する。

第16表 全就業者人口に対する農林・漁業従事者人口等の割合

年次		実数				割合		
昭和	西暦	全就業者	農林業従事者	漁業従事者	第1次産業従事者	農林業従事者	漁業従事者	第1次産業従事者
T型推計								
		千人	千人	千人	千人	%	%	%
50	1975	53,693	7,779	420	8,200	14.49	0.78	15.27
55	1980	56,446	7,017	408	7,425	12.43	0.72	13.15
60	1985	59,242	6,405	398	6,803	10.81	0.67	11.48
65	1990	61,141	5,845	388	6,233	9.56	0.63	10.19
70	1995	64,566	5,381	378	5,759	8.33	0.59	8.92
75	2000	66,285	5,067	368	5,435	7.64	0.56	8.20
80	2005	67,080	4,916	362	5,278	7.33	0.54	7.87
85	2010	67,449	4,862	360	5,222	7.21	0.53	7.74
90	2015	67,745	4,818	350	5,168	7.11	0.52	7.63
95	2020	69,620	4,780	352	5,132	6.87	0.51	7.37
100	2025	69,523	4,768	353	5,121	6.86	0.51	7.37

M型推計

50	1975	53,693	7,779	420	8,200	14.49	0.78	15.27
55	1980	56,446	6,692	394	7,086	11.86	0.70	12.55
60	1985	59,242	5,734	369	6,103	9.68	0.62	10.30
65	1990	61,141	4,929	348	5,277	8.06	0.57	8.63
70	1995	64,566	4,295	331	4,626	6.65	0.51	7.17
75	2000	66,285	3,828	315	4,143	5.78	0.48	6.25
80	2005	67,080	3,531	303	3,834	5.26	0.45	5.71
85	2010	67,449	3,347	295	3,642	4.96	0.44	5.40
90	2015	67,745	3,222	282	3,504	4.76	0.42	5.17
95	2020	69,620	3,157	275	3,432	4.53	0.40	4.93
100	2025	69,523	3,141	272	3,413	4.52	0.39	4.91

農林・漁業従事者人口の推計

農林・漁業従事者人口の推計

一方五〇年の推計人口の三五才以上人口に五才階級別に計算指標〔C〕を適用して五五年の四〇才以上人口を推計し、前者の推計人口とドッキングして五五年の推計人口を算定するのである。

(b) (a)の場合には、求めるべき推計人口を一五〇三九才と四〇才以上というように四〇才の線で分けて推計したが、今回は三五才の線で二分する点がちがうだけで、他は全く同じ計算手続きを行うのである。えられた推計人口は末尾に結果表として一括されている。

〔五〕 本推計人口についての簡単な分析

1、全就業者に対する各従事者人口の割合

第16表をみると、昭和五〇年には、農林業、漁業従事者の全就業者に対する割合が、それぞれ一四・五%、〇・七八%、計すなわち第一次産業従事者が全就業者しめる割合が一五・三%であるが、T型推計では、第一次産業従事者の占める割合が昭和七五年には、八・二%（農林業七・六%、漁業〇・六%）、同一〇〇年には、七・四%（農林業六・九%、漁業〇・五%）である。したがってその割合は、昭和五〇年に對比して第一次産業、農林業はとも半減以上であるが、漁業は三五%の減少に留まっている。それに対してM型推計では、第一次産業従事者の割合は、昭和七五年には六・三%（農林業五・八%、漁業〇・五%）、同一〇〇年には四・九%（農林業四・五%、漁業〇・四%）で、昭和五〇年に對比して第一次産業従事者のしめる割合は三三%（農林業三二%、漁業五〇%）で約 $\frac{1}{2}$ に該当する。

2、従事者人口の老令化について

いま昭五〇、七五および一〇〇年について農林業、漁業、第一次産業別に、男女、年令階級別にそれぞれの年

第17表 男女年令階級別・全就業人口に対する割合 (%)

(1) 農林業従事者

年令階級	男			女		
	昭50	75	100	50	75	100
(T型)						
総数	10.31	5.06	4.47	21.41	12.14	11.13
15—19才	4.71	4.71	4.71	2.07	2.07	2.07
20—24	3.67	3.67	3.67	3.81	3.81	3.81
25—34	3.48	3.47	3.49	11.42	11.44	11.54
35—44	7.93	5.93	5.87	21.40	16.19	16.10
45—54	14.31	4.67	4.68	30.25	11.98	12.01
55—64	21.48	4.28	4.38	40.57	11.63	11.50
65—	37.74	10.85	4.05	57.92	25.76	11.24

(M型)

総数	10.31	3.92	3.00	21.41	9.01	7.24
15—19	4.71	4.71	4.71	2.07	2.07	2.07
20—24	3.67	3.67	3.67	3.81	3.81	3.81
25—34	3.48	3.47	3.47	11.42	11.44	11.54
35—44	7.93	3.20	3.19	21.40	8.86	8.82
45—54	14.31	2.52	2.53	30.25	6.56	6.58
55—64	21.48	3.17	2.36	40.57	8.63	6.30
65—	37.74	10.85	2.54	57.92	25.76	6.93

(2) 漁業従事者

年令区分	男			女		
	昭50	75	100	50	75	100
(T型)						
総数	0.98	0.64	0.59	0.45	0.40	0.36
15—19	0.93	0.93	0.93	0.08	0.07	0.08
20—24	0.61	0.61	0.61	0.11	0.11	0.11
25—34	0.61	0.61	0.55	0.29	0.29	0.29
35—44	1.16	0.81	0.80	0.66	0.40	0.40
45—54	1.26	0.60	0.60	0.60	0.38	0.38
55—64	1.26	0.51	0.48	0.64	0.62	0.48
65—	1.44	0.68	0.33	0.57	0.94	0.62

令階級の全就業者人口に対する対応する従事者人口の割合を示すと、つぎの第17表のとおりである。この表によってわが国の農林・漁業従事者人口老令化の推移をみてみよう。

これらの率を年令階級別みると、例えば、農林業従事者の男について、昭和五〇年においては五五〜六四才、

(M型)						
総数	0.98	0.53	0.43	0.45	0.38	0.33
15-19	0.93	0.93	0.93	0.08	0.07	0.08
20-24	0.61	0.61	0.61	0.11	0.11	0.11
25-34	0.61	0.61	0.55	0.29	0.29	0.29
35-44	1.16	0.52	0.39	0.66	0.35	0.35
45-54	1.26	0.39	0.39	0.60	0.34	0.34
55-64	1.26	0.41	0.31	0.64	0.59	0.43
65-	1.44	0.68	0.23	0.57	0.94	0.56

(3) 第1次産業従事者

年齢区分	男			女		
	昭50	75	100	50	75	100

(T型)						
総数	11.29	5.71	5.06	21.87	12.54	11.49
15-19	5.64	5.64	5.64	2.15	2.15	2.15
20-24	4.29	4.29	4.29	3.92	3.92	3.92
25-34	4.09	4.08	4.04	11.70	11.72	11.83
35-44	9.09	6.74	6.67	22.05	16.58	16.50
45-54	15.57	5.27	5.29	30.84	12.36	12.40
55-64	22.74	4.79	4.86	41.21	12.25	11.99
65-	39.18	11.53	4.38	58.50	26.71	11.86

(M型)						
総数	11.29	4.45	3.43	21.87	9.38	7.56
15-19	5.64	5.64	5.64	2.15	2.15	2.15
20-24	4.26	4.29	4.29	3.92	3.92	3.92
25-34	4.09	4.08	4.04	11.70	11.72	11.83
35-44	9.09	3.72	3.58	22.05	9.21	9.17
45-54	15.57	2.91	2.92	30.84	6.90	6.91
55-64	22.74	3.59	2.67	41.21	9.22	6.72
65-	37.18	11.53	2.77	58.50	26.71	7.49

六五才一についてそれぞれ二二・四八%、三七・七四%であったのが、昭和一〇〇年にはT型推計でも四・三八%、四・〇五%、特にM型推計では二・三六%、二・五四%と著しく低くなっている。これは昭和五〇年当時の老令人口が解消したことを意味する。この意味において現段階における人口老令化現象は、農林・漁業が近代化

第18表 第1次産業従事者の割合
(United Kingdom) (1971年)

年齢階級	男	女
総数	3.75%	1.29%
15—19	4.29	0.66
20—24	2.83	0.77
25—34	3.22	1.24
35—44	3.60	1.91
45—54	3.72	1.34
55—64	4.02	1.64
65≤	8.62	2.66

出所：Demographic Yeas book, 1972.

へ脱皮するために避けられない必要悪であるという考えの正しいことが実証されるわけである。参考のためにイギリスの場合を第18表に掲げておこう。しかし日本農林・漁業がこのような近代化への歩みをとるためには、後継者が農業経営を行う場合に必要とする条件にマッチしたように農業の基盤整備をすることが必須条件であることはいくらでもない。

3、老令者のUターンを農業が受入れる場合には、M型推計人口にいくら加算すべきか

たとえば、昭和一〇〇年を例にとると、五五才を期して老令者が農林・漁業従事者に復帰するものと仮定しよう。

農林業従事者人口については、T型推計人口の五五才以上人口から、M型推計人口の五五才人口の差に相当する人口が加算されるものと考えればよい。

したがって千人単位で

$$\begin{array}{r} \left. \begin{array}{l} (T) \\ 701.6 \\ + \\ 487.8 \\ \hline 1,189.4 \end{array} \right\} - (M) \left. \begin{array}{l} 381.7 \\ 302.9 \\ \hline 684.6 \end{array} \right\} = 504.8 \end{array}$$

がふえる形になる。

農林・漁業従事者人口の推計

農林・漁業従事者人口の推計

同様に漁業従事者人口についても

$$(T) \left\{ \begin{array}{r} 49.0 \\ + \\ 32.3 \\ \hline 81.3 \end{array} \right\} - (M) \left\{ \begin{array}{r} 35.9 \\ 25.5 \\ \hline 10.4 \end{array} \right\} = 70.9$$

がふえる形になる。

以 上

- (1) この論文はその骨子を第14回日本人口学会大会（昭和50年7月28日）で発表したものである。
- (2) 戸塚博允 日本農業の変化と問題点、農林漁業公庫、一九七五年四月、三一―四〇頁。
本論では、農林業特に農業従事者の意識について詳述するが、漁業、林業従事者についても詳細な調査が裏付けにならなければならない。
- (3) ここで年令別職業・在職率または職業・就業率というように、職業という字句が入っているのは、たとえば特定の産業に係わる場合には、年令別産業・在職率、産業・就業率と記して概念を明確にするためである。ここでとり扱っている農林業もしくは漁業従事者とは、統計上「農林業従事者」もしくは「漁業従事者」という職業名である。
- (4) この統計資料は、国勢調査の中分類による職業別統計表からえられる。
- (5) 重み行列は、昭和30、35、40、45年のデータに、最小自乗法によって対数直線をあてたときの、30―55年に対する計算値を求めるものである。
- (6) 今年为国勢調査年次である。その調査結果が活用できる段階になると、この推計も一段と正確が期待されるわけである。この意味で推計を行う時期としては、最悪の条件下にあるわけである。しかし敢えて本推計を行なったのは、この種の推計を行うときの考え方を問題にしたかったわけである。

— 結 果 表 —

男女年令階級別

全就業者，農林・漁業従事者数の将来推計

(1975～2020)

(1) 推 計 数 (単位: 1,000人)

1975年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全 就 業 者	農林業従事者	漁業従事者
総 数	53,693	7,779.3	420.2
15—19才	2,026	69.9	10.6
20—24	6,495	242.5	25.1
25—29	7,334	349.9	33.8
30—34	6,403	463.5	35.9
35—39	6,271	657.6	54.7
40—54	16,668	3,113.0	170.0
55—64	5,772	1,681.3	58.3
65—	2,725	1,201.7	31.8

(男)

総 数	33,498	3,454.8	328.6
15—19	1,060	49.9	9.9
20—24	3,580	131.5	22.0
25—29	5,084	150.6	28.7
30—34	4,413	178.7	29.0
35—39	4,050	243.2	40.2
40—54	9,984	1,252.8	128.5
55—64	3,459	743.2	43.5
65—	1,868	705.0	26.9

(女)

総 数	20,195	4,324.5	91.6
15—19	965.1	20.0	0.7
20—24	2,915	111.1	3.1
25—29	2,249	199.3	5.1
30—34	1,991	284.8	7.0
35—39	2,221	414.4	14.4
40—54	6,684	1,860.2	41.5
55—64	2,312	938.1	14.8
65—	857.5	496.7	4.9

1980年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	56,446	7,017.1	6,692.4	408.0	393.7
15—19才	2,096	72.4		11.0	
20—24	5,650	210.9		22.0	
25—29	6,273	297.4		29.0	
30—34	7,483	541.6		42.0	
35—39	6,770	713.7	389.0	47.1	32.8
40—54	18,482	2,417.0		162.5	
55—64	6,515	1,585.6		61.4	
65—	3,176	1,178.5		33.0	

(男)

総数	35,415	3,049.4	2,923.7	310.9	297.8
15—19	1,100	51.8		10.2	
20—24	3,146	115.5		19.3	
25—29	4,381	129.7		24.7	
30—34	5,157	208.8		33.8	
35—39	4,357	273.5	147.8	37.5	24.4
40—54	11,255	956.1		117.0	
55—64	3,870	670.4		42.2	
65—	2,149	643.5		26.1	

(女)

総数	21,030	3,967.8	3,768.7	97.0	95.9
15—19	995.7	20.6		0.7	
20—24	2,504	95.4		2.7	
25—29	1,892	167.7		4.3	
30—34	2,326	332.8		8.1	
35—39	2,412	440.2	241.2	9.5	8.4
40—54	7,228	1,460.9		45.6	
55—64	2,646	915.2		19.2	
65—	1,027	535.0		6.9	

1985年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	59,242	6,405.3	5,734.3	398.1	368.9
15—19才	2,250	77.8		11.8	
20—24	5,851	218.4		22.8	
25—29	5,481	258.3		25.5	
30—34	6,406	460.3		36.1	
35—39	7,920	834.7	454.5	55.1	38.4
40—54	19,680	1,901.6	1,610.8	141.1	128.6
55—64	8,052	1,546.0		72.9	
65—	3,601	1,108.3		32.9	

(男)

総数	37,196	2,745.4	2,488.3	298.3	271.7
15—19	1,184	55.7		11.0	
20—24	3,267	120.0		20.1	
25—29	3,855	114.2		21.7	
30—34	4,448	180.1		29.2	
35—39	5,099	320.0	172.7	43.9	28.6
40—54	11,955	720.0	610.3	98.7	87.5
55—64	4,990	664.1		49.9	
65—	2,399	571.2		23.8	

(女)

総数	22,045	3,660.0	3,246.0	99.8	97.2
15—19	1,066	22.1		0.8	
20—24	2,584	98.4		2.8	
25—29	1,626	144.1		3.7	
30—34	1,958	280.2		6.9	
35—39	2,820	514.6	281.8	11.1	9.8
40—54	7,726	1,181.6	1,000.5	42.4	41.1
55—64	3,062	881.8		23.0	
65—	1,203	537.1		9.1	

1990年

農林・漁業従事者の人口推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	61,141	5,844.7	4,928.7	388.1	348.3
15-19才	2,604	96.2		13.7	
20-24	6,283	234.6		24.6	
25-29	5,683	267.3		26.4	
30-34	5,597	399.3		31.6	
35-39	6,775	709.4	386.2	47.3	32.9
40-54	21,482	1,748.5	1,155.7	128.2	102.8
55-64	8,552	1,329.9		80.9	
65-	4,165	1,065.5		35.4	

(男)

総 数	38,101	2,489.5	2,139.0	287.5	251.5
15-19	1,375	64.7		12.8	
20-24	3,516	129.1		21.6	
25-29	4,004	118.6		22.6	
30-34	3,914	158.5		25.7	
35-39	4,400	276.2	149.0	37.9	24.6
40-54	13,007	646.5	423.2	89.2	66.5
55-64	5,131	574.1		54.3	
65-	2,754	521.8		23.4	

(女)

総 数	23,040	3,355.2	2,789.7	100.6	96.7
15-19	1,229	25.5		0.9	
20-24	2,768	105.4		3.0	
25-29	1,679	148.8		3.8	
30-34	1,683	240.8		5.9	
35-39	2,374	433.3	237.2	9.4	8.3
40-54	8,475	1,102.0	732.5	39.0	36.2
55-64	3,421	755.8		26.6	
65-	1,411	543.7		12.0	

1995年

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	64,566	5,380.7	4,295.2	378.0	331.0
15—19才	2,587	89.6		13.6	
20—24	7,276	271.6		28.5	
25—29	6,107	286.9		28.4	
30—34	5,804	413.2		32.8	
35—39	5,914	615.6	335.0	41.4	28.8
40—54	21,961	1,767.9	963.0	120.5	86.1
55—64	9,933	913.2		72.4	
65—	4,984	1,022.7		40.4	
(男)					
総数	40,688	2,279.1	1,861.8	278.4	236.3
15—19	1,364	64.2		12.7	
20—24	4,086	150.0		25.1	
25—29	4,309	127.6		24.3	
30—34	4,066	164.7		26.7	
35—39	3,873	243.1	131.1	33.4	21.7
40—54	13,315	663.3	358.0	87.0	56.6
55—64	6,323	371.4		43.5	
65—	3,353	494.9		25.8	
(女)					
総数	23,878	3,101.7	2,433.4	99.6	94.7
15—19	1,223	25.4		0.9	
20—24	3,191	121.5		3.4	
25—29	1,798	159.3		4.1	
30—34	1,737	248.5		6.1	
35—39	2,041	372.5	203.9	8.1	7.1
40—54	8,646	1,104.6	605.0	33.5	29.5
55—64	3,610	541.9		28.9	
65—	1,631	527.9		14.6	

農林・漁業従事者人口の推計

2000年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	66,285	5,066.6	3,828.3	368.4	314.9
15-19才	2,355	81.5		12.4	
20-24	7,226	269.7		28.3	
25-29	7,079	331.9		33.0	
30-34	6,236	443.4		35.2	
35-39	6,130	637.0	346.7	43.0	30.0
40-54	20,997	1,668.3	908.3	114.4	81.7
55-64	10,449	728.0	540.0	57.7	50.1
65-	5,813	906.8		44.4	

(男)

総数	42,103	2,130.9	1,650.2	271.5	224.0
15-19	1,241	58.4		11.5	
20-24	4,051	148.8		24.9	
25-29	5,006	148.3		28.2	
30-34	4,375	177.2		28.7	
35-39	4,023	252.5	136.2	34.7	22.5
40-54	12,816	632.2	341.1	82.7	53.7
55-64	6,628	283.5	210.2	33.9	27.5
65-	3,962	430.0		27.0	

(女)

総数	24,182	2,935.7	2,178.2	96.9	90.9
15-19	1,113	23.1		0.8	
20-24	3,175	121.0		3.4	
25-29	2,073	183.7		4.7	
30-34	1,861	266.2		6.5	
35-39	2,107	384.5	210.5	8.3	7.3
40-54	8,181	1,036.1	567.3	31.7	28.0
55-64	3,821	444.4	329.7	23.8	22.6
65-	1,851	476.7		17.5	

2005年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	67,080	4,915.7	3,531.4	362.2	302.8
15—19才	2,234	77.3		11.8	
20—24	6,577	245.5		25.7	
25—29	7,028	329.8		32.7	
30—34	7,230	512.8		40.9	
35—39	6,587	683.6	372.0	46.2	32.1
40—54	19,186	1,529.4	832.5	105.5	75.2
55—64	11,785	825.3	449.5	56.9	41.9
65—	6,452	711.9		42.5	

(男)

総数	42,915	2,057.1	1,511.7	268.2	215.6
15—19	1,178	55.5		11.0	
20—24	3,688	135.4		22.6	
25—29	4,965	147.0		28.0	
30—34	5,085	205.9		33.4	
35—39	4,330	271.7	146.5	37.3	24.2
40—54	11,801	586.5	316.3	76.8	49.9
55—64	7,444	326.1	176.1	36.0	23.4
65—	4,424	328.9		23.1	

(女)

総数	24,165	2,858.6	2,019.7	94.0	87.1
15—19	1,056	21.9		0.8	
20—24	2,889	110.1		3.1	
25—29	2,063	182.8		4.7	
30—34	2,145	306.9		7.5	
35—39	2,257	411.9	225.5	8.9	7.9
40—54	7,385	942.9	516.2	28.7	25.3
55—64	4,341	499.2	273.4	20.9	18.4
65—	2,028	382.9		19.4	

2010年

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	67,449	4,861.9	3,347.1	360.3	295.2
15—19才	2,308	79.9		12.1	
20—24	6,241	233.0		24.4	
25—29	6,396	300.2		29.8	
30—34	7,177	509.6		40.6	
35—39	7,632	790.4	430.2	53.6	37.2
40—54	19,035	1,523.9	829.5	105.6	75.1
55—64	11,617	810.9	441.4	56.1	41.2
65—	7,043	614.0	523.4	38.1	34.7

(男)

総数	43,299	2,030.3	1,426.4	267.9	210.5
15—19	1,217	57.3		11.3	
20—24	3,499	128.5		21.5	
25—29	4,519	133.8		25.5	
30—34	5,042	204.2		33.1	
35—39	5,030	315.7	170.3	43.3	28.2
40—54	11,758	588.4	317.3	77.3	50.2
55—64	7,395	324.3	175.0	35.5	23.1
65—	4,839	278.1	240.0	20.4	17.7

(女)

総数	24,149	2,831.6	1,920.7	92.3	84.7
15—19	1,091	22.6		0.8	
20—24	2,742	104.4		3.0	
25—29	1,877	166.3		4.3	
30—34	2,135	305.4		7.5	
35—39	2,602	474.7	259.9	10.3	9.1
40—54	7,277	935.5	512.1	28.3	24.9
55—64	4,222	486.6	266.4	20.6	18.1
65—	2,204	335.9	283.4	17.7	17.0

2015年

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	67,745	4,817.6	3,222.1	350.2	281.6
15-19才	2,462	85.2		12.9	
20-24	6,447	240.6		25.2	
25-29	6,070	284.8		28.3	
30-34	6,533	463.9		28.3	
35-39	7,577	785.5	427.5	53.2	36.9
40-54	20,809	1,670.2	909.1	116.0	82.5
55-64	10,026	696.7	379.1	48.4	35.5
65-	7,823	590.7	431.8	37.9	32.0

農林・漁業従事者人口の推計

(男)

総数	43,484	2,011.9	1,372.0	259.3	198.9
15-19	1,298	61.1		12.1	
20-24	3,615	132.8		22.2	
25-29	4,288	127.0		24.2	
30-34	4,590	185.9		21.5	
35-39	4,988	313.0	168.9	43.0	27.9
40-54	12,886	647.6	349.2	85.2	55.3
55-64	6,435	282.6	152.4	31.0	20.1
65-	5,384	262.0	194.8	20.3	15.6

(女)

総数	24,262	2,805.7	1,850.1	90.9	82.8
15-19	1,164	24.1		0.9	
20-24	2,832	107.9		3.1	
25-29	1,781	157.8		4.1	
30-34	1,943	278.0		6.8	
35-39	2,589	472.4	258.7	10.2	9.0
40-54	7,923	1,022.6	559.9	30.8	27.1
55-64	3,590	414.1	226.7	17.5	15.4
65-	2,439	328.7	237.0	17.6	16.4

2020年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	69,620	4,779.6	3,157.0	352.0	275.1
15—19才	2,513	87.0		13.2	
20—24	6,875	256.6		26.9	
25—29	6,270	294.2		29.2	
30—34	6,198	440.1		28.8	
35—39	6,897	715.0	389.1	48.4	26.3
40—54	23,279	1,780.2	969.0	123.7	88.0
55—64	9,604	664.3	361.4	46.4	34.0
65—	7,984	542.2	359.4	35.5	28.7

(男)

総 数	43,990	1,997.9	1,345.0	262.0	193.4
15—19	1,325	62.4		12.3	
20—24	3,855	141.6		23.7	
25—29	4,430	131.2		25.0	
30—34	4,355	176.3		22.3	
35—39	4,541	285.0	153.7	39.1	18.1
40—54	13,806	691.1	372.7	90.8	59.0
55—64	6,189	271.2	146.3	29.9	19.4
65—	5,490	239.2	160.8	19.0	13.7

(女)

総 数	25,630	2,781.6	1,812.0	90.0	81.6
15—19	1,188	24.6		0.9	
20—24	3,020	115.1		3.3	
25—29	1,840	163.0		4.2	
30—34	1,844	263.8		6.5	
35—39	2,356	430.0	235.4	9.3	8.2
40—54	9,472	1,089.2	596.3	32.9	29.0
55—64	3,415	393.0	215.2	16.5	14.6
65—	2,494	303.0	198.6	16.5	15.1

2025年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	69,523	4,768.0	3,140.5	353.5	272.2
15—19才	2,431	84.1		12.8	
20—24	7,019	262.0		27.5	
25—29	6,687	313.8		31.1	
30—34	6,403	454.6		30.7	
35—39	6,544	678.4	369.2	45.9	26.6
40—54	22,535	1,785.6	972.0	124.1	82.1
55—64	10,163	701.6	381.7	49.0	35.9
65—	7,740	487.8	302.9	32.3	25.5

(男)

総数	44,604	1,993.9	1,337.0	263.7	190.9
15—19	1,282	60.3		11.9	
20—24	3,936	144.5		24.2	
25—29	4,725	139.9		26.6	
30—34	4,499	182.2		24.0	
35—39	4,308	270.4	145.8	37.1	18.8
40—54	13,975	693.7	374.2	90.9	52.8
55—64	6,561	287.2	154.9	31.7	20.6
65—	5,319	215.6	135.1	17.3	12.0

(女)

総数	24,919	2,774.1	1,803.5	89.8	81.3
15—19	1,149	23.8		0.9	
20—24	3,084	117.5		3.3	
25—29	1,962	173.9		4.5	
30—34	1,904	272.5		6.7	
35—39	2,236	408.0	223.4	8.8	7.8
40—54	8,560	1,091.9	597.8	33.2	29.3
55—64	3,602	414.3	226.8	17.4	15.3
65—	2,421	272.2	167.8	15.0	13.6

(2) 男女年齢階級別割合 (単位 %)
1975年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全 就 業 者	農林業従事者	漁業従事者
総 数	1,000.0	1,000.0	1,000.0
15—19才	37.72	8.99	25.20
20—24	120.96	31.17	59.75
25—29	136.58	44.98	80.45
30—34	119.26	59.58	85.51
35—39	116.80	84.53	130.07
40—54	310.43	400.16	404.44
55—64	107.49	216.12	138.81
65—	50.76	154.47	75.78
(男)			
総 数	623.88	444.10	781.92
15—19	19.75	6.42	23.47
20—24	66.67	16.90	52.28
25—29	94.69	19.35	68.23
30—34	82.18	22.97	68.92
35—39	75.43	31.27	95.71
40—54	185.94	161.04	305.75
55—64	64.43	95.53	103.51
65—	34.79	90.62	64.05
(女)			
総 数	376.12	555.90	218.08
15—19	17.97	2.57	1.73
20—24	54.29	14.27	7.47
25—29	41.89	25.62	12.22
30—34	37.08	36.61	16.59
35—39	41.37	53.26	34.36
40—54	124.49	239.12	98.69
55—64	43.07	120.59	35.29
65—	15.97	63.85	11.73

1980年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	37.13	10.32	10.82	26.92	27.89
20—24	100.10	30.06	31.52	53.94	55.89
25—29	111.13	42.38	44.44	71.14	73.71
30—34	132.57	77.18	80.93	102.94	106.65
35—39	119.93	101.70	58.12	115.36	83.41
40—54	327.44	344.44	361.15	398.39	412.77
55—64	115.42	225.96	236.93	150.49	155.92
65—	56.27	167.95	176.10	80.83	83.74

(男)

総 数	627.42	434.56	436.87	762.11	756.37
15—19	19.49	7.38	7.74	25.08	25.99
20—24	55.74	16.47	17.27	47.33	49.04
25—29	77.61	18.49	19.38	60.55	62.74
30—34	91.36	29.76	31.20	82.97	85.97
35—39	77.19	38.97	22.08	92.01	62.06
40—54	199.39	136.25	142.86	286.69	297.04
55—64	68.55	95.54	100.17	103.52	107.26
65—	38.08	91.71	96.16	63.95	66.26

(女)

総 数	372.58	565.44	563.13	237.89	243.63
15—19	17.64	2.94	3.08	1.84	1.90
20—24	44.36	13.59	14.25	6.61	6.85
25—29	33.52	23.89	25.05	10.59	10.97
30—34	41.21	47.42	49.72	19.96	20.68
35—39	42.74	62.73	65.78	23.36	21.35
40—54	128.04	208.19	218.29	111.70	115.73
55—64	46.87	130.42	136.75	46.96	48.66
65—	18.20	76.24	79.94	16.87	17.48

1985年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15-19才	37.98	12.15	13.57	29.66	32.01
20-24	98.77	34.10	38.09	57.36	61.91
25-29	92.52	40.32	45.04	63.93	68.99
30-34	108.14	71.86	80.27	90.55	97.73
35-39	133.69	130.31	79.26	138.31	104.04
40-54	332.20	296.88	280.90	354.43	348.49
55-64	135.92	241.36	269.60	183.18	197.70
65-	60.79	173.02	193.27	82.58	89.13

(男)

総数	627.42	428.61	433.93	749.34	736.59
15-19	19.49	8.70	9.72	27.65	29.84
20-24	55.74	18.73	20.93	50.37	54.36
25-29	77.61	17.82	19.91	54.60	58.93
30-34	91.36	28.12	31.41	73.33	79.14
35-39	77.19	49.96	30.12	110.33	77.42
40-54	199.39	112.41	106.43	247.93	237.10
55-64	68.55	103.69	115.82	125.39	135.33
65-	38.08	89.17	99.61	59.73	64.47

(女)

総数	372.13	571.39	566.07	250.66	263.41
15-19	18.00	3.45	3.85	2.01	2.17
20-24	43.62	15.37	17.17	6.99	7.55
25-29	27.45	22.50	25.13	9.33	10.07
30-34	33.05	43.74	48.86	17.22	18.59
35-39	47.61	80.35	49.14	27.98	30.20
40-54	130.41	184.47	174.48	106.49	114.93
55-64	51.68	137.67	153.78	57.79	62.37
65-	20.30	83.85	93.66	22.85	24.66

1990年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	42.59	15.43	18.30	35.33	39.37
20—24	102.77	40.13	47.59	63.27	70.51
25—29	92.95	45.74	54.24	68.05	75.83
30—34	91.55	68.32	81.01	81.38	90.69
35—39	110.80	121.38	78.36	121.82	94.46
40—54	351.35	299.15	234.48	330.38	295.08
55—64	139.87	227.54	269.83	208.52	232.38
65—	68.12	182.30	216.18	91.25	101.68

(男)

総 数	623.16	425.94	433.99	740.74	722.28
15—19	22.49	11.08	13.13	32.95	36.72
20—24	57.50	22.09	26.20	55.59	61.95
25—29	65.49	20.29	24.06	58.17	64.83
30—34	64.02	27.12	32.16	66.20	73.77
35—39	71.97	47.25	30.22	97.66	70.72
40—54	212.74	110.61	85.87	229.86	191.07
55—64	83.92	98.23	116.48	139.94	155.94
65—	45.04	89.28	105.87	60.38	67.29

(女)

総 数	376.84	574.06	566.01	259.26	277.72
15—19	20.10	4.36	5.17	2.38	2.65
20—24	45.27	18.04	21.39	7.68	8.56
25—29	27.46	25.45	30.18	9.88	11.01
30—34	27.53	41.20	48.85	15.18	16.92
35—39	38.84	74.13	48.14	24.16	23.74
40—54	138.61	188.54	148.61	100.52	104.01
55—64	55.95	129.32	153.35	68.59	76.43
65—	23.08	93.02	110.31	30.87	34.40

1995年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	40.07	16.64	20.85	35.99	41.10
20—24	112.69	50.47	63.23	75.42	86.14
25—29	94.58	53.32	66.80	75.13	85.81
30—34	89.89	76.80	96.20	86.70	99.02
35—39	91.60	114.40	77.99	109.58	86.97
40—54	340.13	328.57	224.20	318.90	260.29
55—64	153.85	169.72	212.61	191.49	218.70
65—	77.19	190.07	238.11	106.79	121.97

(男)

総 数	630.17	423.56	433.46	736.56	713.97
15—19	21.12	11.93	14.95	33.55	38.32
20—24	63.28	27.88	34.93	66.33	75.76
25—29	66.73	23.71	29.71	64.27	73.41
30—34	62.98	30.60	38.34	70.61	80.64
35—39	59.98	45.17	56.59	68.25	65.50
40—54	206.22	123.27	154.42	230.26	171.02
55—64	97.93	69.02	86.46	115.03	131.37
65—	51.93	91.97	115.21	68.25	77.96

(女)

総 数	369.83	576.44	566.54	263.44	286.03
15—19	18.95	4.71	5.90	2.44	2.78
20—24	49.41	22.59	28.30	9.09	10.38
25—29	27.85	29.61	37.10	10.86	12.40
30—34	26.91	46.19	57.87	16.09	18.38
35—39	31.62	69.23	47.47	21.33	21.47
40—54	133.91	205.30	140.85	88.64	89.27
55—64	55.92	100.70	126.16	76.46	87.33
65—	25.26	98.10	122.90	38.53	44.01

2000年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	35.52	16.09	21.29	33.61	39.31
20—24	109.02	53.24	70.46	76.77	89.81
25—29	106.80	65.51	86.70	89.47	104.66
30—34	94.08	87.52	115.83	95.64	111.87
35—39	92.48	125.72	90.55	116.66	94.79
40—54	316.77	329.28	237.26	310.50	259.39
55—64	157.64	143.68	141.05	156.73	159.07
65—	87.70	178.97	236.85	120.62	141.09

(男)

総 数	635.18	420.58	431.04	737.04	711.27
15—19	18.73	11.53	15.26	31.33	36.65
20—24	61.12	29.36	38.86	67.49	78.94
25—29	75.53	29.26	38.72	76.63	89.64
30—34	66.01	34.97	46.28	77.95	91.18
35—39	60.69	49.84	35.57	94.07	71.50
40—54	193.34	124.78	89.09	224.36	170.57
55—64	99.99	55.96	54.92	92.02	87.17
65—	59.78	84.88	112.33	73.19	85.61

(女)

総 数	364.82	579.42	568.96	262.96	288.73
15—19	16.80	4.55	6.03	2.27	2.66
20—24	47.90	23.87	31.60	9.29	10.86
25—29	31.27	36.25	47.98	12.84	15.02
30—34	28.07	52.55	69.55	17.69	20.69
35—39	31.79	75.88	54.98	22.59	23.29
40—54	123.42	204.50	148.18	86.14	88.83
55—64	57.65	87.72	86.13	64.72	71.90
65—	27.92	94.09	124.52	47.43	55.48

2005年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	33.31	15.73	21.90	32.44	38.81
20—24	98.05	49.95	69.52	71.08	85.05
25—29	104.77	67.10	93.40	90.29	108.04
30—34	107.78	104.32	145.22	112.86	135.04
35—39	98.19	139.06	105.34	127.57	105.98
40—54	286.02	311.18	235.75	291.32	248.45
55—64	175.69	167.90	127.29	157.15	138.29
65—	96.19	144.82	201.58	117.29	140.34

(男)

総数	639.76	418.47	428.07	740.41	712.28
15—19	17.56	11.28	15.70	30.24	36.18
20—24	54.98	27.55	38.35	62.48	74.76
25—29	74.02	29.91	41.63	77.29	92.48
30—34	75.80	41.89	58.30	92.13	110.23
35—39	64.55	55.28	41.49	102.96	80.03
40—54	175.92	119.30	89.57	212.11	164.92
55—64	110.98	66.34	49.86	99.43	77.38
65—	65.96	66.92	93.15	63.76	76.29

(女)

総数	360.24	581.53	571.93	259.59	287.72
15—19	15.75	4.45	6.20	2.19	2.63
20—24	43.07	22.39	31.17	8.59	10.28
25—29	30.75	37.19	51.76	13.00	15.56
30—34	31.98	62.44	86.91	20.74	24.81
35—39	33.65	83.78	63.85	24.61	25.95
40—54	110.10	191.81	146.18	79.21	83.54
55—64	64.71	101.56	77.43	57.72	60.91
65—	30.23	77.90	108.44	53.53	64.05

2010年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	34.22	16.43	23.87	33.69	41.19
20—24	92.53	47.91	69.60	67.81	82.76
25—29	94.83	61.74	89.68	82.63	100.85
30—34	106.41	104.82	152.26	112.62	137.45
35—39	113.15	162.57	128.53	148.80	126.08
40—54	282.22	313.45	247.81	293.01	254.53
55—64	172.23	166.78	131.88	155.62	139.58
65—	104.42	126.30	156.38	105.81	117.63

(男)

総 数	641.96	417.59	426.16	743.72	713.19
15—19	18.04	11.78	17.11	31.41	38.34
20—24	51.88	26.43	38.39	59.61	72.76
25—29	67.00	27.52	39.98	70.74	86.33
30—34	74.76	42.00	61.01	91.87	112.13
35—39	74.57	64.93	50.87	120.28	95.39
40—54	174.33	121.03	94.81	214.55	170.13
55—64	109.64	66.70	52.27	98.56	78.18
65—	71.74	57.20	71.71	56.71	59.94

(女)

総 数	358.04	582.41	573.84	256.28	286.81
15—19	16.18	4.65	6.76	2.28	2.78
20—24	40.65	21.48	31.20	8.20	10.12
25—29	27.83	34.21	49.70	11.90	14.52
30—34	31.65	62.82	91.25	20.75	25.32
35—39	38.57	97.64	77.65	28.52	30.68
40—54	107.89	192.41	153.00	78.46	84.40
55—64	62.60	100.08	79.61	57.06	61.40
65—	32.67	69.10	84.67	49.10	57.69

2015年

農林・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	36.34	17.69	26.45	36.97	45.97
20—24	95.16	49.51	74.68	72.07	89.60
25—29	89.60	59.13	88.40	80.67	100.31
30—34	96.44	96.29	143.96	80.72	100.36
35—39	111.84	163.04	132.82	151.90	131.15
40—54	307.16	346.68	282.14	331.13	292.83
55—64	147.99	144.62	117.67	138.34	126.16
65—	115.48	122.61	134.06	108.21	113.62

(男)

総 数	641.87	417.62	425.82	740.48	706.17
15—19	19.16	12.68	18.96	34.47	42.86
20—24	53.36	27.56	41.20	63.35	78.77
25—29	63.30	26.36	39.41	69.06	85.86
30—34	67.76	38.58	57.69	61.29	76.20
35—39	73.63	64.98	97.16	122.70	99.15
40—54	190.21	134.41	200.97	243.20	196.48
55—64	94.99	58.66	47.31	88.41	71.43
65—	79.47	54.39	60.45	58.00	55.42

(女)

総 数	358.13	582.38	574.18	259.52	293.83
15—19	17.18	5.01	7.48	2.50	3.11
20—24	41.80	22.40	33.49	8.71	10.83
25—29	26.30	32.77	48.99	11.61	14.44
30—34	28.68	57.70	86.27	19.43	24.15
35—39	38.22	98.06	80.27	29.20	32.00
40—54	116.95	212.27	173.76	87.93	96.36
55—64	53.00	85.96	70.36	49.93	54.73
65—	36.01	68.22	73.56	50.21	58.20

2020年

農村・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	36.10	18.20	27.56	37.55	48.05
20—24	98.76	53.70	81.30	76.46	97.85
25—29	90.05	61.56	93.20	82.89	106.08
30—34	89.03	92.08	139.41	81.70	104.57
35—39	99.07	149.59	123.26	137.55	95.65
40—54	334.37	372.47	306.96	351.38	319.89
55—64	137.95	138.98	114.49	131.73	123.45
65—	114.67	113.43	113.84	100.74	104.46

(男)

総数	631.86	418.02	426.03	744.39	703.25
15—19	19.03	13.05	19.76	35.01	44.80
20—24	55.37	29.62	44.85	67.21	86.02
25—29	63.63	27.45	41.55	70.96	90.81
30—34	62.55	36.90	55.86	63.37	81.10
35—39	65.22	59.62	48.69	111.11	65.83
40—54	198.31	144.59	118.07	257.98	214.54
55—64	88.90	56.74	46.33	84.81	70.52
65—	78.85	50.04	50.92	53.94	49.63

(女)

総数	368.14	581.98	573.97	255.61	296.75
15—19	17.07	5.15	7.80	2.54	3.25
20—24	43.38	24.07	36.45	9.24	11.83
25—29	26.43	34.11	51.64	11.93	15.27
30—34	26.48	55.18	83.55	18.34	23.47
35—39	33.85	89.96	74.57	26.44	29.82
40—54	136.06	227.88	188.89	93.40	105.36
55—64	49.05	82.23	68.15	46.92	52.93
65—	35.82	63.39	62.92	46.80	54.83

2025年

農村・漁業従事者人口の推計

(男女計)	全就業者	農林業従事者		漁業従事者	
		T	M	T	M
総 数	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
15—19才	34.96	17.65	26.79	36.17	46.97
20—24	100.97	54.95	83.43	77.73	100.95
25—29	96.19	65.82	99.92	88.05	114.35
30—34	92.10	95.35	144.77	86.81	112.74
35—39	94.13	142.28	117.56	129.97	97.75
40—54	324.14	374.50	309.51	351.08	301.50
55—64	146.18	147.15	121.55	138.74	131.87
65—	111.33	102.31	96.46	91.46	93.87

(男)

総 数	641.58	418.19	425.73	746.03	701.31
15—19	18.43	12.65	19.21	33.72	43.79
20—24	56.61	30.31	46.02	68.33	88.74
25—29	67.96	29.34	44.55	75.37	97.89
30—34	64.71	38.21	58.01	67.94	88.24
35—39	61.97	56.71	46.44	104.99	69.15
40—54	201.02	145.49	119.15	257.15	193.97
55—64	94.37	60.25	49.32	89.54	75.55
65—	76.50	45.22	43.03	48.99	43.98

(女)

総 数	358.42	581.81	574.27	253.97	298.69
15—19	16.53	4.99	7.58	2.45	3.18
20—24	44.36	24.64	37.41	9.40	12.21
25—29	28.23	36.47	55.37	12.67	16.46
30—34	27.39	57.14	86.75	18.86	24.50
35—39	32.16	85.57	71.12	24.98	28.60
40—54	123.12	229.00	190.37	93.94	107.54
55—64	51.81	86.90	72.23	49.21	56.32
65—	34.82	57.09	53.43	42.47	49.89